

芦浦観音寺と周辺の史跡を訪ねて

芦浦観音寺の春の公開に併せ、周辺の寺社を巡ります(約 2 km)。

コース	草津駅西口バス停＝	芦浦下車・・・	芦浦観音寺前合流・・・	安国寺跡・・・
	9:55	10:10	10:17	10:20
	若宮神社・・・	金乗寺・・・	観音寺堀・藪・・・	荒龍神社・・・
	10:30	10:45 (見学 25 分)	11:20	11:30
	志那街道・・・	印岐志呂神社・・・	芦浦観音寺	
	11:50	12:00 (見学、昼食、トイレ 40 分)	13:00	

※ 金乗寺では本堂にてご住職に説明していただきます。

※ 芦浦観音寺では阿弥陀堂・聖天堂・書院・本堂でボランティアガイドの説明があります。

※ 見学後自由解散 芦浦発草津駅西口行 バス時刻 14:01、14:31、15:16

コースポイント

安国寺跡

足利尊氏が南北朝の戦いで亡くなった人々の霊を慰めるため一国一寺を建立した。近江はここ芦浦に。発掘調査により経塚(県指定文化財)が出土している。安国寺境内にあった宝篋印塔は観音寺境内に移されている。現本尊は六体地藏菩薩。

若宮神社

祭神：伊邪那命(イナノミコ)。元亀元年(1570)創建  
元は印岐志呂神社境内にあったが、観音寺住職が朝夕参拝のためこの地に勧請した。鳥居に「明暦 2 年(1656) 舜興・西川光春」と刻む。

舜興＝観音寺 11 代住職 光春＝舜興の弟

金乗寺

浄土真宗本願寺派。天文 5 年(1536)創立。当時は花摘堂と称す。

寺宝 本尊：阿弥陀如来立像(元安国寺の本尊と伝える)

梵鐘：「伊岐志呂之鐘」と称し重要として戦時の供出から除外された

半鐘：常盤の火の見櫓にあったもの

荒龍神社

若宮神社の飛地境内社。芦浦の鬼門に位置するこの地の守護神。

平成 15 年までの鳥居は、元大津市観音寺町にあったもの(大津市観音寺町には、芦浦観音寺の代官所が置かれていた)。

昌藏院

浄土真宗仏光寺派。康元 2 年(1257)創立。境内に樹齢 500 年の榎の大木。

寺宝 光明本尊、親鸞聖人木造御影。

志那街道

守山の中山道今宿から志那港までの約 7 km の道。比叡山延暦寺の門前町坂本への往来にと栄えた。南北朝期には、北畠顕家(アキハ)軍や高師直(カウノチカ)軍の武将が駆け巡った。

志那港は草津三港のひとつ。

印岐志呂神社

祭神：大己貴之命(オホミタケノミコ)。式内社。三間社流造。敏達 13 年(584)産土神の社が建てられ、用明 2 年(586)天皇即位の年に新穀を献上する「悠紀代」に定められ「いきしろ」となり神社名となった。天智 6 年(667)大和三輪神社より勧請。

社殿は慶長、寛永、寛政年間に時の観音寺住職が再建した(市文化財)。

一夜伏塚(ヒトヨツヅカ) 神社南前方の畑中にある塚は、南北朝期の印岐志呂合戦で戦死した武将を祀った塚と伝える。印岐志呂合戦(足利尊氏方の高師直×後醍醐天皇方の僧祐覚)